

平成21年12月12日

全国医師ユニオン 御中

みんなの党  
担当 黒澤

## 「医療再生と勤務医の過重労働に関する公開質問状」の回答

## 1. 国民皆保険制度について

国民皆保険制度を堅持する。そのため、健康保険制度を段階的に一元化し、官民格差をなくし、最終的には安定的制度運営のため、地域主権型道州制を想定したブロック単位で運営する。また、健康保険料の月収上限を撤廃し、所得に応じた負担によって健康保険行政の安定を確保する。また、幼児医療は無償化する。

## 2. 医療費について

医療崩壊をこれ以上すすめないために、医療費は増額すべき。だが、レセプトチェックやジェネリック医薬品採用により、医療費のムダは削る。

## 3. 勤務医の過重労働について

かかりつけ医と専門医の役割分担を明確化したうえで、急性期病院は急性期のみ扱うよう診療規制を行い、医師数を増加させ、地域ごとに医師の配置を一定程度勤務医に割り当てるようにし、一施設当たりの医療従事者数を増員させる。また、医師以外の医療従事者と連携した地域医療体制を構築する。

## 4. 医師数の増員・スタッフの増員

医師数を OECD 加盟国平均の人口千人当たり3人に増やす。医学部やメディカルスクールの新設を解禁するが、教育現場に現場の医師がとられて人材不足にならないよう、配慮して行う。

## 5. 貴党の医療政策について

(医療アクセス) 医師数を OECD 加盟国平均の人口千人当たり3人に増やし、かかりつけ医と専門医の役割分担を明確にすることで医師の過重労働を解消し、医療アクセスを改善させる。

(国民皆保険) 健康保険制度を段階的に一元化し、保険料の月収上限撤廃で、所得に応じた負担により、保険行政を安定化させ、官民格差の不公平も是正する。

(医療費) ジェネリック医薬品やレセプトチェックで医療費のムダを削減する。

(世界最先端の医療) ドラッグラグやデバイスラグを解消し、世界最先端の医療機器や医薬品が速やかに国内で使用できる体制を整える。